

平成20年度

朝日町予算説明書



朝日町総務課

目 次

◎ 平成20年度朝日町当初予算の概要	1
◎ 朝日町第5次総合発展計画基本構想と平成20年度の主要な施策	3
◎ 朝日町定住促進ビジョン	5
◎ 事業別予算説明	
1. 信頼とつながりにより地域の力をつくる「地域力の向上」	
1-1 地域を支える人材の育成	7
1-2 郷土愛を育む活動の推進	7
1-3 未来を担う子ども達の教育環境づくり	9
2. 安定した暮らしができる産業をつくる「産業力の向上」	
2-1 地域特性を活かした農業の産地力強化	10
2-2 まちに活力を生み出す産業の創出	12
2-3 地域の宝物を活用した交流・観光の推進	14
3. 安心と、魅力ある定住環境をつくる「定住力の向上」	
3-1 みんなで支える子育て環境の整備	15
3-2 健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備	20
3-3 安全安心で、快適な環境の整備	21
◎ 平成20年度当初予算額（会計別）	25
◎ 一般会計当初予算額（決算額）の推移	26

平成20年度朝日町当初予算の概要

第5次朝日町総合発展計画の実施の初年度

**いつの時代も自信と誇りを持ち
住みたい、ずっと住み続けたい 魅力のあるまちをつくる**

厳しい財政状況を踏まえ、行財政改革に引き続き取り組むことにより人件費をはじめとする一般行政経費の削減を行い、政策的経費を確保する。

「第5次朝日町総合発展計画」の実施の初年度、また「朝日町定住促進ビジョン」の2年目として、「いつの時代も自信と誇りを持ち 住みたい、ずっと住み続けたい 魅力のあるまちをつくる」施策に財源を重点配分。

(1) 第5次朝日町総合発展計画を実現するための3つの柱に行財政資源を集中

	千円
○ 信頼とつながりにより地域の力をつくる【地域力の向上】	28,421
○ 安定した暮らしができる産業をつくる【産業力の向上】	30,452
○ 安心と、魅力ある定住環境をつくる【定住力の向上】	630,323

(2) 行財政改革による経費の削減

○ 人件費の削減（議員報酬の削減・特別職給与・管理職手当削減の継続、職員数の削減）	▲ 30,925
○ 公債費の削減（繰上償還分を除く）	▲ 87,433
○ 経常的経費充当一般財源の削減	(▲ 122,404) (再掲)

1. 歳入について

○ 一般財源総額の確保

町税	635,930	(対19)	▲ 11,825	▲ 1.8 %
地方交付税	2,210,000	(対19)	30,000	1.4 %
臨時財政対策債	143,100	(対19)	▲ 12,900	▲ 8.3 %
財政調整基金繰入金	113,000	(対19)	▲ 62,000	▲ 35.4 %
その他（譲与税、交付金等）	226,374	(対19)	▲ 30,419	▲ 11.8 %
一般財源総額	3,328,404	(対19)	▲ 87,144	▲ 2.6 %

主な歳入内訳

地方税	635,930	個人住民税・固定資産税・入湯税の減
地方交付税	2,210,000	普通交付税：地域再生対策費の創設による増、公債費の減
国・県支出金	337,599	地域住宅交付金事業の皆減、まちづくり交付金事業の減
地方債	434,400	過疎債・辺地債 214,200、公営住宅債 70,400、臨道債6,700、臨財対143,100
地方譲与税・交付金	157,900	地方財政計画に基づく推計により減
基金繰入金	141,137	財調113,000、減債18,000、志藤六郎村おこし8,737、林ノツ振興1,400

基本構想

空気澄み 人つながり 志高く
未来を拓く 朝日町

いつの時代も自信と誇りを持ち
住みたい、ずっと住み続けたい
魅力のあるまちをつくる
～ 自立した地域をつくる～

ともに考え
ともに築く
まちをつくる

～ 人と人の
「つながり」が
あるまち～

地域力

定住力

産業力

『交流』による
活力のある
まちをつくる

～ 交流による
新たな「価値」と
「にぎわい」の創造～

時代に適応した、信頼される行政の確立

- 新鮮な情報を受・発信し、町民とともに考え、ともに行動する行政の確立
- 町民に分かり易い経営を目指し、町民の視点に立った成果指向の行政システムの構築
- 自立を支える行財政基盤の確立

【 平成20年度の主要な施策 】

定住力の向上

安心と、魅力のある定住環境をつくる 630,323

● みんなで支える子育て環境の整備

～働いている親も安心して子育てのできるまちづくりを進める～

- ・ 子育て支援拠点施設の整備 133,162
(子育て支援センターと統合保育園を併設した子育て支援のための拠点となる施設)
- ・ 子育てに係る経済的負担の軽減 32,162
(第2子以降の保育料軽減、未就学児の医療費完全無料化等)
- ・ 多様な保育ニーズへの対応 9,947 (早朝・延長・3歳未満児保育等の実施)
- ・ 子育てを支える多様な仕組みづくり 7,842
(子育て支援センター設置、放課後子ども教室の実施、放課後児童クラブの実施)
- ・ 高校通学に困らない交通手段の確保 6,636
(山形市直行バスの運行、バス定期券に対する助成)

● 健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備

～生涯現役で活躍できる健康な人を増やす～

- ・ 健康づくりの推進 31,234 (新健康診断事業、健康相談指導事業)
- ・ 地域医療の充実 164,286 (在宅当番医制・休日診療等、朝日町立病院運営補助)
- ・ 高齢者が元気で安心して生活できる 4,035
(福祉バス運行委託、長寿クラブ助成、元気クラブ助成)

● 安全安心で、快適な環境の整備

～地域ぐるみの支え合いと、生活を支える基盤をつくる～

- ・ 豊かな自然と調和した快適な生活基盤の整備 96,500
(まちづくり交付金による町道・交流広場公園等の都市基盤整備、町単独の町道整備)
- ・ 快適で多様な住宅環境の整備 108,000 (町営住宅の整備(まちづくり交付金事業))
- ・ 建てやすい仕組みの整備 32,100 (合併処理浄化槽の設置補助、木造利用住宅建築助成等)
- ・ 震災対策の推進 4,419 (耐震診断、防災対策装備)

地域力の向上

信頼とつながりにより地域の力をつくる 28,421

● 地域を支える人材の育成

～地域課題を自ら捉え、やる気と挑戦する人をつくる～

- ・ 人材育成事業「協働のまちづくり推進プロジェクト(あさひ未来塾)」2,000

● 郷土愛を育む活動の推進

～地域に自信と誇りを持つ人を育てる～

- ・ 地域の自発的な取り組みを支援 11,000
(地域提案型交付金、総合雪対策制度)
- ・ 地域づくり支援機能強化 800
(協働検討機関設置、町職員地域支援担当事業、美しい農村づくりの継承、学校跡地利用)
- ・ 地域づくりへの参加を促す 3,000
(志藤六郎村おこし基金を活用した地域のソボルづくり等への助成)
- ・ 一人ひとりが町を好きになり誇りを持つための取り組み 3,550
(朝日町読本作成等)

● 未来を担う子ども達の教育環境づくり

～心身のたくましい健やかな子どもをみんなで育てる～

- ・ 子どもの学ぶ力を高める仕組みづくり 8,071
(トライアングルパートナーシップの推進、各学校における学力向上への支援、英語指導助手の配置)

産業力の向上

安定した暮らしができる産業をつくる 30,452

● 地域特性を活かした農業の産地力強化

～朝日町ブランドづくりを進める～

- ・ 高品質りんご生産緊急対策 4,000
(奨励品種・新技術の導入促進)
- ・ 連携・協働・促進対策 2,118
(生産者・市場関係者交流会、輸出推進等)
- ・ 活力ある農業者の育成支援 3,800
(後継者・新規就農者の支援対策、農業新分野等支援事業等)

● まちに活力を生み出す産業の創出

～多様な連携による産業集積と創造的「ものづくり」を進める～

- ・ 地域資源を活かした産業創造への支援 10,300
(「仮」朝日町産業創造推進機構の創設、新事業経営安定対策の継続、開業支援利子補給等)
- ・ 産業立地による雇用の場の確保 1,214
(産業立地推進員制度、町内企業雇用促進PR支援等)
- ・ 町内商工業の振興 5,020
(商業活性化対策事業補助、商工会指導事業補助等)

● 地域の宝物を活用した交流・観光の推進

～地域資源や「食」の活用と、情報発信力を強化する～

- ・ 朝日町の魅力を発信し受け入れ体制を整備 4,000
(観光振興推進員の設置、観光協会補助)

結婚に向け 頑張る人を応援します

H20予算 833千円

結婚へのステップを後押しします

- ハッピープランサポートの実施【461】
- 近隣市町との広域的な連携による
出会いの場の創出【19～】【272】
- セミナーの開催【19～】【100】



住

若者が住みやすい 住環境をつくります

H20予算 112,750千円

子育て世代・若者に魅力ある
住まいを提供します

- 町営アパートの整備促進
 - ・町営アパート(公営住宅)の整備 10世帯【19完成】
 - ・雇用促進アパートの取得【19完了】
- ・町営アパート(地域優良賃貸住宅)の建設
6世帯【20新】
- 若者が住宅を建てやすい仕組みづくり
 - ・木材利用住宅建築助成【2,250】
 - ・借地権設定が可能なシステム構築
- 住宅団地の造成

環境を考えた住まいづくり
を進めます

- 雪などに適応した住みやすい住まいづくりの推進
 - ・地域で支える雪対策・雪害対策事業の実施【19～】【1,500】
- 自然環境に配慮した住宅への改善推進
 - ・合併処理浄化槽設置若者定住促進補助の継続【1,000】

転入を促進できる環境
づくりを進めます

- 情報発信によるきっかけづくり
 - ・ホームページ等による情報発信
- 転入に当たっての支援の充実
 - ・定住相談窓口の開設
- 転入後のアフターフォローの充実
 - ・転入者ネットワークの創設・支援★

今まではアパートとか
少なくて大変だった
けど、今度できるそ
うだよ。入ろうか。



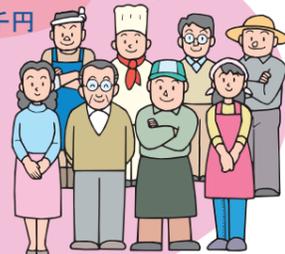
地区のみんなの意見で
いろいろ事業がで
るんだって。
よ～し、やってみよう！

地域のガンバリ を応援します

H20予算 16,800千円

地域の自発的
取り組みを支援します

- ・地域提案型交付金制度の実施
【19～】★【11,000】
- ・協働のまちづくり推進プロジェクト
(あさひ未来塾)【19～】★【2,000】
- ・志藤六郎村おこし基金補助事業★【3,000】
- ・朝日町職員地域支援担当事業
【20新】★【800】



【朝日町定住促進ビジョン】 ずっと住み続けたい、ここに住んでみたい そんな朝日町にします

『子育て世代』20才代～40才代が住みやすいまちづくり
施策の視点「育」「職」「住」「アクセス」

平成19年度～21年度 3カ年計画

平成20年度版

平成20年度 関連予算総額 338,208千円



育

子育てしやすい 環境をつくります

H20予算 175,843千円

子育て支援を充実します

- 子育てに係る経済的負担の軽減
 - ・第2子以降(3才以上)の保育料
5,000円定額化【19～】【16,170】
 - ・未就学児の医療費完全無料化の継続【3,556】
 - ・フッ素塗布の自己負担分無料化【19～】【149】
 - ・18才未満のインフルエンザ予防接種補助【450】
- 多様な保育ニーズへの対応
 - ・乳児保育の充実
 - ・短期保育の実施
 - ・早朝、延長保育の実施
- 子育て支援拠点施設
の整備【20新】【133,162】

- 子育てを支える多様な仕組みづくり
 - ・子育て図書コーナーの開設【19～】【130】
 - ・ブックスタート(読み聞かせによる親子ふれあい
事業)の実施【19～】【75】
 - ・放課後子ども教室の実施【19～】【1,634】
 - ・ファミリーサポート事業の実施★
 - ・子育て支援センターの充実★【2,500】
 - ・子ども見守り隊の実施★
 - ・学童保育の実施★【2,240】

子育て支援や、教育
が充実されて、これ
なら安心して子育て
できるわ！



水準の高い教育を進めます

- 適切な学力が確保できる学習
 - ・学力向上推進事業の実施【1,530】
 - ・学習生活指導補助員の配置【3,140】
 - ・小学校英語活動の充実

- 特色ある教育の実施
 - ・朝日町版職場体験学習
の実施【19～】
 - ・部活レベルアップのための
講師招聘の実施

アクセス

高校通学を 便利にします

H20予算 6,636千円

通学に困らない交通手段を確保します

- バス定期券に対する補助【19～】【3,000】
- 通学時間に合わせたバスの増便【19～】
【山交と連携】
- バスダイヤの改善

通学はグッと便利に
なるし、送迎や定期代
など、親の負担が
かなり軽くなるね



県都への交通網を改善します

- 山形への直行バスの運行【19～】【3,636】

職

しごと環境を 充実します

H20予算 25,346千円

農業経営の安定を図ります

- 農業担い手への支援の集中
 - ・農業新分野等支援事業の創設【19～】【2,000】
 - ・新規就農者受入体制の構築
 - ・小規模基盤整備補助事業の創設

- りんご農家の所得の向上
 - ・生産組合間の交流事業の実施【19～】【600】
 - ・PR活動の強化【400】
 - ・高品質りんご生産緊急対策事業【20新】【4,000】

みんながチャレンジできる
環境整備を図ります

- 創業の支援や新事業創出推進
 - ・RINGOプロジェクトの実施★【8,000】
(朝日町ブランドの育成支援・朝日町ファンクラブの設立他)
 - ・新事業経営安定対策事業の実施【2,000】
 - ・産業立地推進奨励制度の実施
 - ・産業立地推進員制度の創設【19～】【614】
 - ・商工業開業(新事業・産業活性化)支援資金
利子補給制度【300】
 - ・商工業振興資金保証料補給制度【2,712】

頑張る人への支援
策がいろいろ充実
してきたね。



○町内企業への就職の促進

- ・新規学卒者激励の実施
- ・勤労者生活安定資金融資制度の実施【270】
- ・町内企業就業に関するPR【20新】【600】

交流促進による活カアッぷを図ります

- 観光交流、体験交流の促進
 - ・商店街活性化事業の実施【850】
 - ・交流体験モデル事業の実施【19～】
 - ・高速通信網を活用した積極的情報発信
 - ・観光振興推進員の設置【20新】【3,000】

※朝日町では協働のまちづくりを進めています。★印は、町民の皆さんと協働で進めていく事業です。 ※【20新】は、平成20年度からの新規事業です。 [] 内の数値は20年度予算額、単位千円

定住促進ビジョン 平成19年度の主な取り組み

(平成20年3月現在)

子育てしやすい環境づくり

育

- 第2子以降（3才以上）の保育料5,000円定額化を開始
5,000円定額化該当者数 92名
- 未就学児の医療費完全無料化の継続実施
該当件数 1,706件
- 町立図書館に「子育て図書コーナー」を開設
- ブックスタート事業（読み聞かせによる親子のふれあい事業）がスタート
- 朝日町版の職場体験学習を、朝日中2年生が町内28事業所で体験
- 放課後子ども教室「きらきらスクール」がスタート
18名の「きらきら見守り員」を委嘱 子ども達の放課後等の活動をサポート

しごと環境の充実

職

- 農業新分野等支援事業がスタート 花木栽培1生産組織に補助
- ORINGOプロジェクト
研修受講団体13団体 58名 5団体が事業化
- 新事業経営安定対策事業による支援
新しい事業化への取り組みに支援 2団体
- 産業立地推進員 7名を委嘱し活動を開始
- 産業立地奨励制度 誘致企業に奨励金交付 1社

若者が住みやすい住環境づくり

住

- 雇用促進アパートを取得し町営住宅「中郷ハイツ」としてオープン
町営にし条件を緩和 9戸の空き → 40戸全室満室に
- 町営アパート（公営住宅）「みなみハイツ」 10世帯分を建設
3月完成 全10世帯 入居者決定
- 光ファイバーを活用した携帯電話の中継アンテナ設置推進
（白倉地区、大沼・大暮山地区で平成20年3月供用開始）

高校通学を便利に

アクセス

- 高校生のバス通学に対する定期券助成を開始
平成20年2月までで85件の利用
- 山形市への直行バス 平成19年10月より運行開始
平成20年3月までで延べ1,055名が利用

地域の頑張りを応援

- 地域提案型交付金制度をスタート
各地の独自の取り組みが活発に マスタープランづくり20地区
区内の環境美化18地区、地域提案事業10地区 他
- あさひ未来塾が開塾 3年間のプログラムがスタート
「助け合いのまちづくり」「もてなしの心をつなぐ産業・交流」
「まちづくりコーディネーター育成」「田舎暮らし」
の4つのコースに45名が参加

1. 信頼とつながりにより地域の力をつくる

「地域力 の向上」

基本方針 1-1：地域を支える人材の育成

～地域課題を自ら捉え、やる気と挑戦する人をつくる～

☆ 人材育成事業

「協働のまちづくり推進プロジェクト（あさひ未来塾）」

（担当：教育文化課）

町では、「協働のまちづくり指針」を策定し、町民が自主的に町づくりに参加し、町民と行政との協働によるまちづくりを本格的に進めます。

そのためには、地域を支え、町を支える人材が必要不可欠ですので、平成 19 年度に引き続き人材育成事業「協働のまちづくり推進プロジェクト」を開設します。



主な経費

・プロジェクト運営委託料	200万円
----- 財 源 内 訳 -----	
・町の負担（志藤六郎むらおこし基金からの繰入れ）	200万円

基本方針 1-2：郷土愛を育む活動の推進

～地域に自信と誇りを持つ人を育てる～

☆ 地域の自発的な取り組みを支援

「地域提案型交付金事業」

（担当：政策推進課）

地域の創意と工夫を活かした「元気な地域づくり」をめざす住民自治活動を支援するため、各地区に対して「地域提案型交付金」を交付します。

主な経費

<ul style="list-style-type: none"> ・区を維持・振興していくための基本的事業 ・公共的エリアにおける地域提案事業 	}	1,100万円
----- 財 源 内 訳 -----		
・町の負担（志藤六郎むらおこし基金からの繰入れ）		400万円
・町の負担（一般財源）		700万円

☆ 地域づくり支援機能強化
「町職員地域支援担当事業」

(担当：政策推進課)

地域づくりを推進するため、町職員を「地域支援担当職員」として各区に配置し、情報交換を行いながら地区の課題解決に向けた取り組みを行い、協働のまちづくりを進めます。

主な経費

・ 協働のまちづくり検討機関の設置	6 万円
・ 地域支援職員派遣	1 8 万円
・ 美しい農村づくりの継承	1 2 万円
・ 地域づくり特別対策	4 4 万円

----- 財 源 内 訳 -----	
・ 町の負担（一般財源）	8 0 万円

☆ 地域づくりへの参加を促す
「志藤六郎村おこし基金活用事業」

(担当：政策推進課)

地域づくりに意欲と熱意に満ちたグループ・団体（区）が取り組むむらづくり等に対して支援します。

主な経費

・ 志藤六郎むらおこし事業費	3 0 0 万円
----------------	----------

----- 財 源 内 訳 -----	
・ 町の負担（志藤六郎むらおこし基金からの繰入れ）	3 0 0 万円

☆ 一人ひとりが町を好きになり誇りを持つための取り組み
「エコミュージアムのまちづくり推進事業」

(担当：政策推進課)

エコミュージアムの取り組みを通して、これまで以上に町を好きになり誇りを持ってもらうため、これまでのエコミュージアム活動により蓄積されてきた成果や、町の地域資源・宝を活用し、町民や町外からの交流者に対し普及活動を行います。

主な経費

・ 「エコミュージアム <small>こみち</small> の小径」、 「朝日町読本」 の作成	9 5 万円
・ エコミュージアムルームの運営委託	2 0 0 万円
・ 最上川シンポジウム	6 0 万円

----- 財 源 内 訳 -----	
・ 町の負担（一般財源）	3 5 5 万円

基本方針 1-3 : 未来を担う子ども達の教育環境づくり

～心身のたくましい健やかな子どもをみんなで育てる～

☆ 子どもの学ぶ力を高める仕組みづくり

「学力向上支援事業」

(担当：教育文化課)

一人ひとりの児童・生徒に対するきめ細やかな教育を具体的な事業により支援し、知識や技能、思考力等の総合的な学力の向上を図ります。

平成20年度学級編成一覧表(予定)

学校名	児童・生徒数							学級数
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
西五百川小学校	14	13	12	17	16	14	86	7
宮宿小学校	38	29	29	42	28	40	206	8
大谷小学校	12	12	14	17	10	19	84	6
大谷小大沼分校	1	0	0	0	1	1	3	2
朝日中学校	67	82	86				235	10

主な経費

- ・ 学力向上推進事業 1 5 3 万円
- ・ 学習生活指導補助員等の活用 2 1 0 万円
- ・ 英語指導助手 (ALT) 招致事業 4 4 4 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・ 町の負担 (一般財源) 8 0 7 万円



2. 安定した暮らしができる産業をつくる

「産業力の向上」

基本方針 2-1：地域特性を活かした農業の産地力強化

～朝日町ブランドづくりを進める～

☆ 高品質りんご生産緊急対策

「優良品種への更新を促進」

(担当：産業振興課)

樹木の高齢化と品種構成の偏りによる品質低下を抑え、「朝日町りんご」の更なるブランドづくりを行うため、高接ぎ・大苗及び改植による優良品種への更新について支援します。

主な経費

・高品質りんご生産緊急対策事業 400万円

----- 財源内訳 -----

・町の負担（一般財源） 400万円

○補助対象品種

シナノスイート、秋陽、
ファーストレディ(苗木販売が開始され次第)

○その他

詳細については、お問合せ下さい。



☆ 連携・協働・促進対策

「りんご銘柄産地確立対策事業」

(担当：産業振興課)

りんごづくりにかける農家の情熱を集約し、仲卸等市場関係者との連携を進め、日本一のりんごづくりをめざします。

主な経費

・生産者交流会、仲卸等市場関係者との交流会 62万円

・りんごPR用DVD作成費 40万円

・りんご銘柄産地確立対策（統一共選、輸出関係等） 80万円

・果実消費拡大対策（りんご品評会等） 30万円

----- 財源内訳 -----

・町の負担（一般財源） 212万円

☆ 活力ある農業者の育成支援

「農業新分野等支援事業」

(担当：産業振興課)

農業団体や新規就農者等が行う、農業分野での先進的な取組みとなる事業や新技術導入事業など、町農業振興のモデルとなる事業について支援します。

主な経費

・ 農業新分野等支援事業 200万円

財源内訳

・ 町の負担（一般財源） 200万円

《支援例》

- さくらんぼ無加温ハウスの設置支援
- 花木通年栽培普及支援
- 施設園芸新規作物導入支援



「後継者・新規就農者支援事業」

(担当：産業振興課)

弟子入り制度や、農地・農機具等の調達による、後継者や新規就農者が安心して就農できる支援体制づくりを図ります。

主な経費

・ 後継者、新規就農者の支援対策 30万円

・ 農用地改善組合補助 30万円

・ 堆肥購入補助 120万円

財源内訳

・ 町の負担（一般財源） 180万円

基本方針 2-2：まちに活力を生み出す産業の創出

～多様な連携による産業集積と創造的 [ものづくり] を進める～

☆ 地域資源を活かした産業創造への支援

「(仮称)朝日町産業創造推進機構の創設」

(担当：産業振興課)

RINGOプロジェクトで起業された方や、これから起業したいと考えている方に対する支援と、町内事業者が連携し、都市への観光交流事業や商品の販路開拓を行っていくため、中心的な組織として「(仮称)朝日町産業創造推進機構」を創設します。

主な経費

・(仮称)朝日町産業創造推進機構の創設	800万円
----- 財源内訳 -----	
・町の負担(一般財源)	800万円

「新事業経営安定対策事業」

(担当：産業振興課)

朝日町の地域資源を活用した付加価値の高い特産品開発と事業経営の規模拡大に対し、平成19年度に引続き奨励金を貸与します。

主な経費

・新事業経営安定対策費	200万円
----- 財源内訳 -----	
・町の負担(一般財源)	200万円

《奨励金の貸与と返還》

経費総額の50%以内で100万円以内を奨励金として貸与します。

貸与期間が終了した時点でその事業を継続している場合は、奨励金の返還が免除されます。



☆ 地域資源を活かした産業創造への支援

「商工業開業支援資金利子補給制度」

(担当：産業振興課)

町内で新たに商工業を開業した方で、山形県商工業振興資金融資制度に基づき、開業支援資金の貸付けを受けた方に対し、利子補給を行います。

主な経費

・ 商工業開業支援資金利子補給	30万円
----- 財源内訳 -----	
・ 町の負担（一般財源）	30万円

☆ 産業立地による雇用の場の確保

「産業立地促進事業」

(担当：産業振興課)

若者の地元就職による安定的な所得確保を進めるため、平成19年度に産業立地推進員として7名の方を委嘱し、対外的な町のPR活動や企業を誘致するための情報収集等に努めていただいております。平成20年度も引続き実施するほか、あらゆる機会を捉えトップセールスを行います。

また、平成20年度においては、産業立地促進奨励金を交付する企業はありませんが、雇用の場の確保のため積極的に奨励金等のPRも行います。

主な経費

・ 産業立地推進員	20万円
・ 企業立地対策費	41万円
・ 産業立地促進奨励費（※平成20年度の交付はありません。）	
・ 町内企業雇用促進パンフレット作成	60万円
----- 財源内訳 -----	
・ 町の負担（一般財源）	121万円



☆ 町内商工業の振興

「商工業活性化対策事業」

(担当：産業振興課)

商工業者の経営力の向上と商店街の活性化を図るため、商工会や事業振興協議会が主体となり取り組む事業に対し補助金を交付します。

主な経費

・町商工会指導事業	350万円
・産業まつり	50万円
・商業活性化対策事業	85万円
・事業振興協議会補助	17万円

財源内訳

・町の負担（一般財源）	502万円
-------------	-------

基本方針 2-3：地域の宝物を活用した交流・観光の推進

～地域資源や「食」の活用と、情報発信力を強化する～

☆ 朝日町の魅力を発信し受け入れ体制を整備

「観光振興推進員設置事業」

(担当：産業振興課)

観光協会の機能強化を図り、町の魅力の発信や観光物産との連携により、交流人口を拡大するため、観光協会に「観光振興推進員設置補助」および「運営補助金」を交付します。

主な経費

・観光振興推進員設置補助	300万円
・観光協会運営補助	100万円

財源内訳

・町の負担（一般財源）	400万円
-------------	-------



3. 安心と、魅力ある定住環境をつくる

「定住力」の向上

基本方針 3-1：みんなで支える子育て環境の整備

～働いている親も安心して子育てのできるまちづくりを進める～

☆ 子育て支援拠点施設の整備

「子育て支援拠点施設整備事業」

(担当：健康福祉課)

平成 22 年 4 月の開園に向け、現在 3 カ所ある保育園を統合し、子育て支援センターを併設した「子育て支援拠点施設」を整備し、総合的に子育てをサポートします。

主な経費

- ・建物実施設計、敷地造成工事等 1 億 3,316 万円
(※建物は平成 21 年度建築予定)

財源内訳

- ・町の負担（借金・過疎債） 1 億 3,180 万円
- ・町の負担（一般財源） 136 万円



☆ 子育てに係る経済的負担の軽減

「未就学児医療費完全無料化事業」

(担当：健康福祉課)

子育て支援策のひとつとして、平成 17 年 7 月から「朝日町乳幼児医療費完全無料化事業」を実施しています。これは、県の乳幼児医療制度の非該当者及び、県の乳幼児医療制度において発生する自己負担分に対し町がさらに助成するものです。

ただし、入院時の食事代や差額室料など自費負担のものは該当しませんのでご注意ください。

主な経費

- ・乳幼児医療給付費 1,350 万円
- ・乳幼児医療審査支払等 60 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・県の負担 525 万円
- ・町の負担（一般財源） 885 万円

○手続きの流れ

受診 ⇒ 自己負担金の支払い ⇒ 領収書を役場に提出 ⇒ 後日口座に振込



「第 2 子以降（3 歳以上）の保育料の軽減」

(担当：健康福祉課)

子育て支援策のひとつとして、平成 19 年度から第 2 子以降（3 歳以上）の保育料を 5,000 円の定額化にしております。

(3 歳未満児保育料は対象外です。)

平成 20 年度も引続き実施いたします。



影響額

- ・ 5,000 円定額化による保育料の軽減総額 1,617 万円

☆ 子育てに係る経済的負担の軽減

「妊婦健康診査受診事業」

(担当：健康福祉課)

子育て支援策のひとつとして、妊婦健診の無料化を3回分から5回分に増やし、経済的負担を軽減し受診回数を高め、母体や胎児の健康確保を図ります。

主な経費

・ 無料妊婦健康診査受診券交付（5回分） 144万円

----- 財源内訳 -----

・ 町の負担（一般財源） 144万円

「18歳未満インフルエンザ予防接種助成事業」

(担当：健康福祉課)

18歳以下の子ども等が受けたインフルエンザ予防接種費用に対し、19年度に引続き、1,500円を限度に町が助成します。

主な経費

・ 18歳未満インフルエンザ予防接種助成 45万円

----- 財源内訳 -----

・ 町の負担（一般財源） 45万円

☆ 多様な保育ニーズへの対応

「早朝・延長・3歳未満児保育等の実施」

(担当：健康福祉課)

働きながら子育てしている保護者が、困らずに子育てできるように、通常保育のほか多様な保育サービスを提供します。

平成20年度入所児童数（予定）

施設名	3歳児未満	3歳児	4歳児	5歳児	計
さゆり保育園	17	25	30	28	100
ふたば保育園		13	8	15	36
わかば保育園		11	13	23	47

主な経費

・ 早朝保育、延長保育、未満児保育費 995万円

----- 財源内訳 -----

・ 県の負担 520万円

・ 町の負担（一般財源） 475万円

☆ 子育てを支える多様な仕組みづくり

「子育て支援センター」の充実

(担当：健康福祉課)

子育てに困った時や、子育てに関する情報を知りたい時など、乳幼児を持つお母さん達が、少しでも安心して子育てができるように支援します。

現在は、ふたば保育園内にありますが、今後「子育て支援拠点施設」に設置予定ですので、開園にむけ運営や利用内容についても検討していきます。

主な経費

・子育て支援センター運営費等 374万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 374万円



「放課後子ども教室、放課後児童クラブの開設」

(担当：教育文化課)

放課後の子ども達が安全安心で健やかな居場所を確保するため、「放課後子ども教室」を行います。

また、仕事などで保護者や家族の方が、昼間家庭に不在となる児童等に対しては、「りんごっこクラブ」を開設し「放課後児童クラブ」を実施します。

主な経費

・放課後子ども教室 163万円

・放課後児童クラブ 247万円

----- 財 源 内 訳 -----

・県の負担 216万円

・町の負担（一般財源） 194万円

☆ 高校通学に困らない交通手段の確保

「山形直行バス実験運行事業」

(担当：政策推進課)

山形市内への通学、通院、通勤の利便性の向上を図るため、平成19年度と同様に、平日の朝に「山形直行バス」を片道運行します。

山形市内の高校に通学する生徒さんを持つ保護者の方の経済的、時間的負担の軽減を図ります。

主な経費

- ・バス運行委託 360万円
- ・地域公共交通会議 4万円

財源内訳

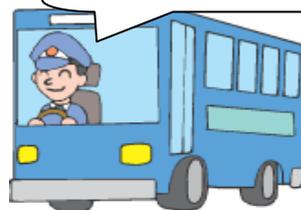
- ・町の負担（一般財源） 364万円

【利用料金】

	中学生以上	小学生	小学生未満
乗車1回当り	500円	250円	無料

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月
通学定期券	5,000円	14,000円	25,000円

ぜひ、ご利用ください。



【時刻】

4月～11月及び3月

西郵便局前	役場前	山形駅西口	山形市役所	北山形駅
6:35	6:42	7:35	7:48	8:00

12月～2月

西郵便局前	役場前	山形駅西口	山形市役所	北山形駅
6:20	6:27	7:32	7:48	8:00

注：夏季休業（7/21～8/22）及び年末年始（12/24～1/7）の運行はありません。

「バス定期券購入助成事業」

(担当：税務町民課)

町外の高校等へ通学する生徒さんが、「宮宿～左沢」区間を含む山交バス定期券を新たに購入された場合、50%助成します。（※定期券購入区間の中で「宮宿～左沢」区間にかかる金額の50%ですのでご注意ください。）

主な経費

- ・バス定期券購入助成費 300万円

財源内訳

- ・町の負担（一般財源） 300万円

基本方針 3-2：健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備

～生涯現役で活躍できる健康な人を増やす～

☆ 地域医療の充実

「朝日町立病院運営費」

(担当：町立病院)

町民の皆様に、質の高い思いやりのある医療・保健・福祉を提供いたします。

主な経費

・町立病院収益的収支	7億9,700万円
・町立病院資本的収支	1億 620万円

----- 財 源 内 訳 -----

・病院会計	7億3,916万円
・国の補助（交付税）	1億3,042万円
・町の負担（一般財源）	3,362万円

☆ 高齢者が元気で安心して生活できる

「生きがいづくり大会」

(担当：健康福祉課)

高齢者が生きがいを持ち、安心して生活できるように、各種在宅・施設福祉サービス、介護予防事業の展開、相談支援体制等の充実を図ります。

主な経費

・生きがいづくり大会開催	14万円
・福祉バス運行委託 （長寿クラブなど高齢者の利用料無料化）	150万円
・長寿クラブ助成	144万円
・シルバー人材センター運営補助	95万円

----- 財 源 内 訳 -----

・県の負担	364万円
・町の負担（一般財源）	364万円

介護保険特別会計で行っている主な事業

①介護予防事業 （「ぴんしゃん教室」、「毎日骨骨サロン」、「元気クラブ」等）	837万円
②包括的支援事業 （「ケアマネージャー支援」、「ケアプラン作成」等）	26万円
③任意事業 （「紙おむつ支給事業」、「認知症高齢者見守り事業」等）	594万円

基本方針 3-3 : 安全安心で、快適な環境の整備

～地域ぐるみの支え合いと、生活を支える基盤をつくる～

☆ 豊かな自然と調和した快適な生活基盤の整備

「まちづくり交付金による都市基盤整備」

(担当：建設水道課)

民地への電柱移設や、石畳舗装をすることにより、豊龍の丘公園までの快適な歩行者空間を整備し、祭りなどの賑わいや交流促進につなげます。

○ 豊龍線・元町杉ノ原線道路整備事業 (平成 19 年度～平成 21 年度)

主な経費

- ・ 舗装整備 3,410 万円
(工事延長 210m、幅員 4～5メートル)

----- 財 源 内 訳 -----

- ・ 国の負担 1,320 万円
- ・ 町の負担 (借金・過疎債) 2,080 万円
- ・ 町の負担 (一般財源) 10 万円



☆ 豊かな自然と調和した快適な生活基盤の整備

「まちづくり交付金による都市基盤整備」

(担当：建設水道課)

若者や子育て世代向けの町営住宅を整備していますが、隣接地にコミュニケーションや安らぎ空間の場として、広場を整備します。

○大町広場整備事業

主な経費

・広場整備（約 1,800㎡） 1,050万円

----- 財源内訳 -----

・国の負担 407万円
 ・町の負担（借金・過疎債） 640万円
 ・町の負担（一般財源） 3万円

※建設予定地は、33ページに表示しております。

「町道整備事業」

(担当：建設水道課)

町が管理する町道において、維持補修や整備を計画的に進めます。

主な経費

・町道維持補修 1,050万円
 ・町道整備（県道整備町負担金1,275万円含む） 2,975万円

----- 財源内訳 -----

・町の負担（借金・過疎債） 1,550万円
 ・町の負担（借金・臨道債） 670万円
 ・町の負担（一般財源） 1,805万円

予定箇所

- ・三中線（長沼）
- ・太郎前小路線（太郎）
- ・三中2号線（高田）
- ・西町草林線（西町）
- ・沼向中央線（沼向）



☆ 快適で多様な住宅環境の整備

「まちづくり交付金による町営住宅の整備」

(担当：建設水道課)

若者や子育て世代向けに、南ハイツの北側に、町営住宅（メゾネットタイプ）を6戸建設予定です。

○ 公営住宅建設事業

【主な経費】

・ 町営住宅建設費 1億1,500万円

----- 財源内訳 -----

・ 国の負担 4,452万円
 ・ 町の負担（借金・公営住宅債） 7,040万円
 ・ 町の負担（一般財源） 8万円

【建設予定地】



☆ 建てやすい仕組みの整備

「合併処理浄化槽の設置補助」

(担当：建設水道課)

町では、大谷地区を除く町内全域において、合併処理浄化槽の設置について、多様な助成制度等を設け普及促進に努めています。

主な経費

・合併処理浄化槽設置補助 2,985万円

----- 財 源 内 訳 -----

・国の負担 562万円

・町の負担（一般財源） 2,423万円

各種助成制度の一例

①若者定住奨励金（5万円）

合併処理浄化槽を設置した年度において、夫婦の一方が40歳未満、または18歳以下の扶養者が1名以上の世帯

②転入者奨励金（20万円）

合併処理浄化槽を設置した年度において転入した世帯

「木造利用住宅建築助成等」

(担当：建設水道課)

町内に建築された木造住宅（新築及び増改築）に対し、助成金を交付します。（国内産木材製品額の20%以内とし、15万円を限度）

ただし、50万円以上の国内産木材製品を、町内製材業者から納入し使用するか、または町内建築業者施行のものに限ります。

主な経費

・木材製品利用住宅建築奨励補助 225万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 225万円

平成20年度 当初予算額（会計別）

（単位：円、％）

区分		当初予算額		比較増減		
		平成20年度	平成19年度	金額	率	
一 般 会 計		40億6,500万	43億2,000万	△2億5,500万	△5.9	
	うち特別会計からの繰入	0万	500万	△500万	△100.0	
	うち特別会計への繰出	4億7,206万	5億5,573万	△8,367万	△15.1	
特別会計	集落排水事業特別会計	2,080万	1,780万	300万	16.9	
	うち一般会計からの繰入	201万	126万	75万	59.6	
	国民健康保険特別会計	10億254万	10億6,120万	△5,866万	△5.5	
	うち一般会計からの繰入	8,987万	1億2,534万	△3,547万	△28.3	
	老人保健特別会計	1億5,879万	12億9,260万	△11億3,381万	△87.7	
	うち一般会計からの繰入	1,709万	1億1,334万	△9,625万	△84.9	
	うち一般会計への繰出	0万	500万	△500万	△100.0	
	介護保険特別会計	8億8,460万	8億737万	7,723万	9.6	
	うち一般会計からの繰入	1億5,315万	1億4,465万	850万	5.9	
	うち一般会計への繰出	0万	0万	0万	0.0	
後期高齢者医療特別会計	9,779万	—	9,779万	皆増		
うち一般会計からの繰入	3,277万	—	3,277万	皆増		
企業会計	病院事業会計	収益的収支	7億9,700万	8億1,440万	△1,740万	△2.1
		資本的支出	1億620万	4,760万	5,860万	123.1
		うち一般会計からの繰入	1億6,404万	1億6,267万	137万	0.8
	水道事業会計	収益的収支	1億6,200万	1億7,000万	△800万	△4.7
		資本的支出	1億3,470万	7,600万	5,870万	77.2
		うち一般会計からの繰入	1,312万	847万	465万	54.8
総 額		74億2,941万	86億697万	△11億7,756万	△13.7	
会計間のお金の出し入れを除いた正味の総額		69億5,737万	80億4,625万	△10億8,888万	△13.5	

一般会計当初予算額（決算額）の推移

1. 一般会計当初予算の推移・概要

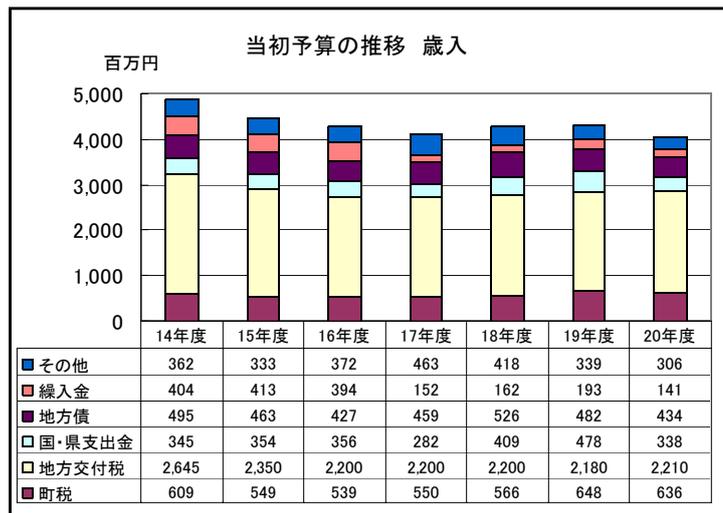
平成20年度一般会計予算額 40億6,500万円（前年度対比△2億5,500万円、△5.9%）
 持続可能な財政運営に留意しつつ、「第5次朝日町総合発展計画」の実施の初年度とし、「いつの時代も自信と誇りを持ち 住みたい、ずっと住み続けたい 魅力のあるまちをつくる」を実現するための3つの柱

- ・信頼とつながりにより地域の力をつくる【地域力の向上】
- ・安定した暮らしができる産業をつくる【産業力の向上】
- ・安心と、魅力ある定住環境をつくる【定住力の向上】

さらには、平成22年度の開所を目指しての「子育て支援拠点施設整備」に、行財政資源の集中を進めました。

(1) 歳入の特徴

- ・町税：町民税個人所得割、固定資産税、入湯税の減
- ・地方交付税：地方再生対策費の創設による増、公債費算入分の減
- ・国庫支出金：地域住宅交付金事業、まちづくり交付金事業の減
- ・繰入金：財政調整基金繰入の減
- ・その他：財産収入（住宅団地売却）の減



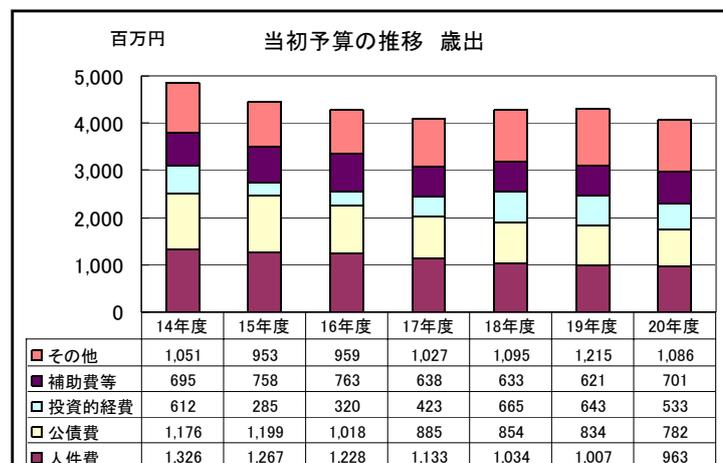
(2) 歳出の特徴

- ・投資的事業：子育て支援拠点施設整備事業の増
- ・補助費等：後期高齢者医療広域連合負担金の増

その他

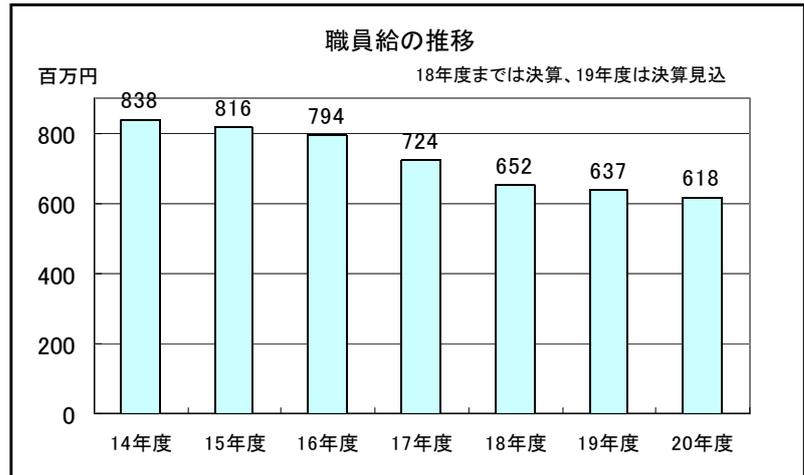
物件費：後期高齢者医療関係システム導入費の減

繰出金：老人保健特別会計繰出の減（後期高齢者医療の創設にともなうもの）



2. 人件費の状況 ～職員数の抑制に努める

- (1) 職員給 (△3.0%)
 職員数の削減、諸手当の見直しによる減などにより
 10年連続の削減



- (2) 職員数 (△2人)
 定員管理計画に基づき職員数の削減を行う

(単位:百万円、%、人)

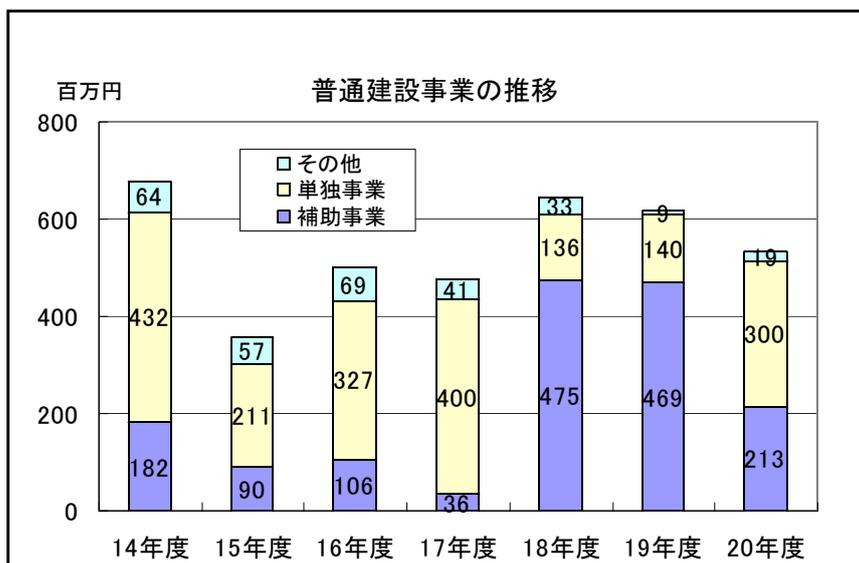
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
人件費	1,292	1,231	1,192	1,118	1,029	1,000	963
伸び率	△ 3.9	△ 4.7	△ 3.2	△ 6.2	△ 8.0	△ 2.8	△ 3.7
職員給	838	816	794	724	652	637	618
伸び率	△ 5.8	△ 2.6	△ 2.7	△ 8.8	△ 9.9	△ 2.3	△ 3.0
職員数	135	133	129	119	109	109	107

(18年度までは決算、19年度は決算見込)

3. 普通建設事業の状況 ～一般行政経費を圧縮し、投資的予算を確保

施策の「選択と集中」を進める

- みんなで支える子育て環境の整備
- 安心安全で、快適な環境の整備



(18年度は決算、
 19年度は決算見込)

4. 町債の状況 ～財政健全化のため発行を抑制

- 町債発行額（臨時財政対策債・減税補てん債を除く）を抑制
（19～21年度の3年間の町債発行額を、町債元金償還額の2分の1以内とする）
臨時財政対策債は地方財政計画のとおり減少する見込み
- 町債残高については、8年連続減少（平成12年度がピーク）

（単位：百万円）

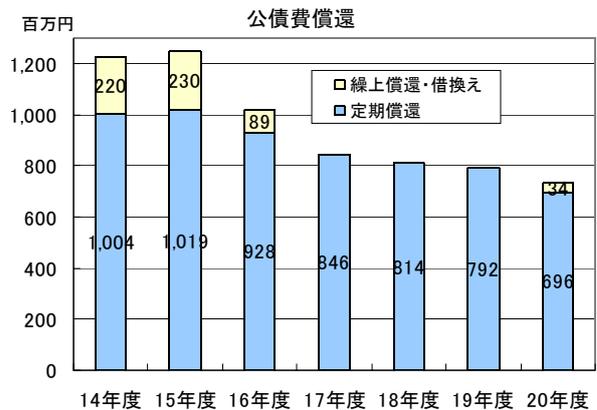
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
発行額	473	538	448	493	499	464	434
臨時財債・減税補てん債	214	386	264	206	181	161	143
臨時財債以外分	259	152	184	287	318	303	291
町債残高	7,216	6,667	6,230	5,818	5,607	5,394	5,183
臨時財債・減税補てん債	323	709	1,123	1,307	1,449	1,549	1,611
臨時財債以外分	6,893	5,958	5,107	4,511	4,158	3,845	3,572

（18年度までは決算、19年度は決算見込）

※「決算統計」の記載要領に準じて計上（病院整備に充当した過疎債を除く）

5. 公債費の状況

- 町債発行額の抑制・繰上償還により、
元利償還額は5年連続減少
（平成15年度がピーク）



（18年度までは決算、19年度は決算見込）

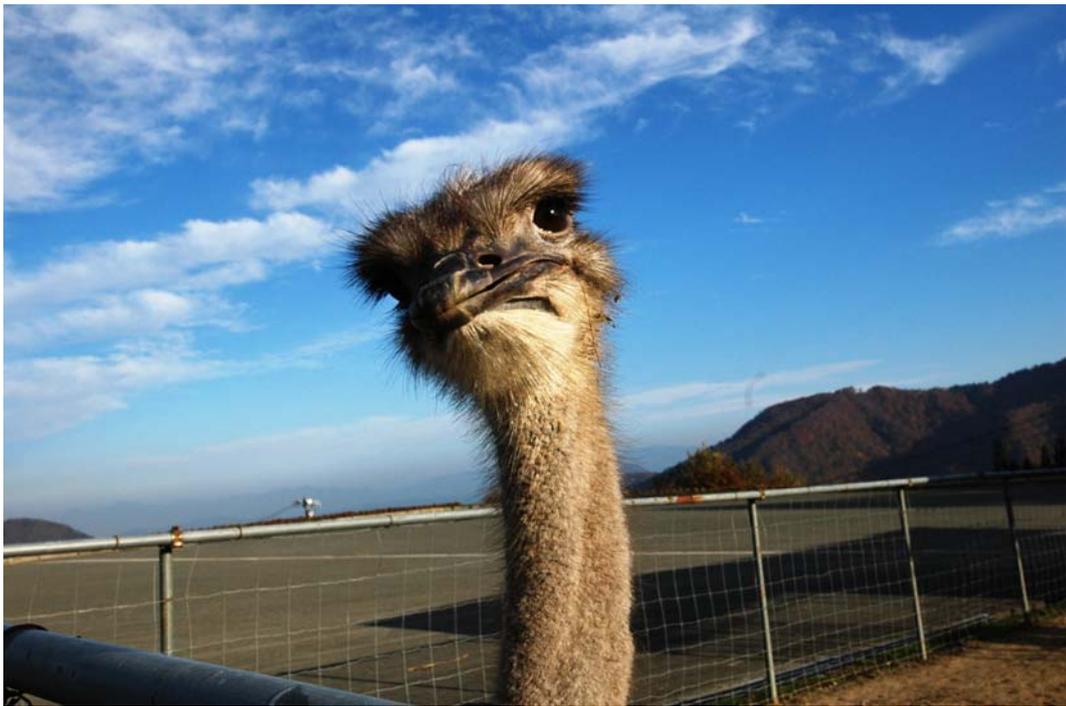
6. 財政調整基金の状況

- 年度末現在高は平成18年度がピーク
 予算取崩額 平成19年度当初：175百万円
 平成20年度当初：113百万円

（単位：百万円）

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
前年度末現在高	318	328	419	565	637	730	703
歳計剰余金処分積立額	103	140	146	72	118	71	
予算積立額					3	2	2
予算取り崩し額	▲ 93	▲ 49			▲ 28	▲ 100	▲ 113
年度末現在高	328	419	565	637	730	703	592

（18年度までは決算、19年度は決算見込）



「平成20年度 朝日町予算説明書」

朝日町総務課